

令和8年度 学校組合立（牧之原小）学校 学校評価

校長名	田中 正信
-----	-------

1 昨年度の成果と課題

○人懐っこく活動的で新しいことにも興味をもち体験しようとする。○令和10年度の牧之原小中一貫校のスタートに向けて、小中間の連携が進んでいる。
 ●周囲へ感謝の気持ちと判断力をあわせもった子供の育成。●「みんなと一緒に伸びて行く子の育成。重点目標「わたしもみんなも大切にする子」

2 本年度の基本方針（経営の重点）

- 1 『対話』場面の充実を重視し子供主体の授業づくりをめざす
- 2 小中一貫校のスタートに向け、中学校と協働した教育活動を推進し、15歳の子供をイメージした縦のつながりを目指す
- 3 保護者（地域の方）から「誇れる牧小の子」と感じていただく
- 4 牧之原小の子供の幸せに携わる教員にとって働きがいのある職場づくり

3 具体的な取組

目 標	具体的な取組	成果目標	評価	成果と課題
『対話』場面の充実を重視し 子供主体の授業づくりをめざす	○切実感のある学習課題や学習問題の設定 ○相手意識をもった「聞く・話す」の徹底	○みんなと取り組む授業は自分のためになっている90%（児童）		
小中一貫校のスタートに向け、中学校と協働した教育活動を推進し、15歳の子供をイメージした縦のつながりを目指す	○授業交流（職員と子供） ○行事等で交流（児童生徒） ○小中教務会の実施（職員間）	○R9の教育課程編成にR8の成果をつなげるよう、月一回の小中教務会をPDCAの視点で実施する。		
保護者（地域の方）から「誇れる牧小の子」と感じていただく	○コミュニティ・スクールの充実とあわせ、各種行事に保護者・地域の方を積極的に招き、子供のよさを見ていただく。 ○学校だよりの発行で地域の方に学校の今を知っていただく	○授業等に地域人材が参画した人数延べ100人以上 ○学校だよりを校長が作成し月2回以上発行する		
牧之原小の子供の幸せに携わる教員にとって働きがいのある職場づくり	○放課後の充実に向け、会議及び面談等の時間を設定する。 ○コミュニティ・スクールの充実により幅広い活動を職員だけでなく、保護者・地域と協働する。	○牧之原小で働く職員の働きがい90%以上（職員）		